

平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業の進捗状況について

1 要旨・目的

農地・農業用施設及び林道施設災害復旧事業の令和3年9月末時点での進捗状況について報告する。

2 現状・背景

(1) 進捗について

農地・農業用施設については、契約が9割を超え、工事完了も約7割となり、営農の再開が進んでいる。また、林道施設についてもおおむね契約を終え、工事完了が約8割に達している。

施設名	実施箇所 ※	契約済			工事完了		
		8月末まで ①	9月 ②	9月末まで ①+②	8月末まで ①	9月 ②	9月末まで ①+②
農地・農業 用施設	4,290 (4,924)	3,957 (92.2%)	51	4,008 (93.4%)	2,807 (65.4%)	137	2,944 (68.6%)
林道 施設	312 (315)	306 (98.1%)	1	307 (98.4%)	234 (75.0%)	1	235 (75.3%)

※ 実施箇所数は、自力復旧などの理由により申請を取り下げた（廃工）箇所を除く。（令和3年7月末現在）
() は工事費40万円以上で、国庫補助事業として採択された箇所数。

(2) 取組状況

- 地域毎に他の災害復旧工事等との調整を図りながら、随意契約等も積極的に活用し、計画的かつ効率的な発注を進めている。
- 既に着手している箇所については、工事の完了に向け、進行管理を徹底している。
- また、工事が未完成の箇所で、今年度の大雨による増破箇所については、査定等の取扱いについて国と事前の協議を行い、10月25日から査定を進める。
- 今年度の災害による、今後の工事発注等への影響も考慮し、市町と連携しながら着実な営農の再開を図る。

3 概要

(1) 対象者

農林業関係者

(2) 事業内容（実施内容）

農地・農業用施設、林道施設の災害復旧

(3) スケジュール

平成30年度から令和3年度

(4) 予算（国庫）

農地・農業用施設 6,588,911千円 林道施設 338,700千円 （※R3 過年災当初予算額）

(5) 今後の対応

遅れている箇所については、被災者に対し復旧時期の見込などを丁寧に説明し、早期復旧を目指す。